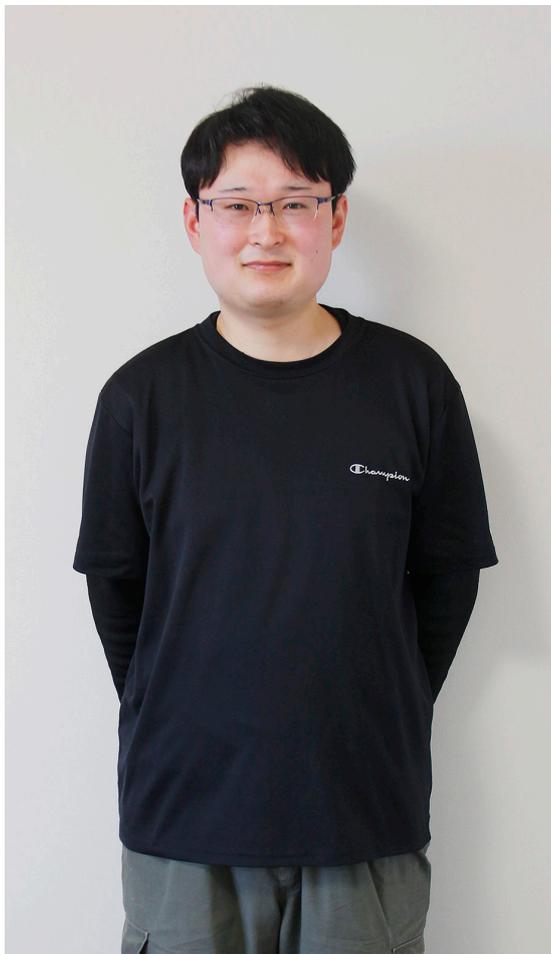


Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



北海道農業共済組合
雄武家畜診療所 家畜人工授精師

と か い し ゅ ん べ い 渡海 隼平 さん



今回、フレッシュトークの取材に応じてくれたのは、江別市の酪農学園大学卒業後、北海道農業共済組合雄武家畜診療所に勤務して3年目になる渡海隼平さんです。

渡海さんは、牛の種付けなどを行い、安定した繁殖を行う家畜人工授精師として活躍しています。

「大学の研究室で畜産関係の勉強をされていて、その時に授精師という仕事に興味を持ちました」「知識はもちろん、技術面でも覚えることが多く、手先の感覚で行う作業もあるので、感覚をつかむのがとても大変です。しかし、自分が種付けを行った牛から子牛が生まれて、元気に育っていく姿を見ていると、この仕事を「していて良かったと感じます」とやりがいを感じているようです。

「授精師は、手先の正確性や牛の状態などを見極める知識が必要不可欠です。これからも技術力の向上を目指して経験を積んでいき、町の畜産業に携わっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします」と仕事に対する意気込みを話してくれました。

最後に、休日の過ごし方について聞いてみると「釣りや温泉が好きなので、温泉地の情報を集めたり、釣りに出かけたりしてますね。今は新型コロナウイルス感染症の影響もあって、あまり遠くへは出かけられません。コロナが収束したら、道内の温泉すべてを制覇したいです」と渡海さんの温泉好き一面が伺えました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりまします。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりまします。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりまします。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりまします。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼「ココカラ」でボールペン飾り作成の様子を取材してきました。飾りのいくら模型は赤いビーズを樹脂粘土で包んで着色がされていて、とてもリアルないくらになっていました。利用者さんも楽しそうに飾りを作っていました。皆さんも機会があればぜひ、お手に取ってみてください。 (松井)

▼今年のゴールデンウィークは3年ぶりに移動制限のないものとなっております。新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより、旅行を自粛されていた人も多くいらっしゃると思いますが、感染対策をしっかりと行い楽しい祝日を過ごしていただきたいと思います。(結城)